FIWC

Friends International Work Camps
関西委員会

定例委員会報告　2000.10

参加者：劉成道・大杉彩・太田和加子・須川浩和・戸張岳陽・車星_・建部穣・西村真理・柳川義雄・坂口一道・寄田猛・吉森晃子・藤田妙子
中西章文・以上14名　（2000年10月21日交流の家にて）

○光明園Campのお知らせ

期間：11月3日～5日
ワーク内容：草むしりor道路修理
二晩のうち少なくとも一晩は入園者の方との交流を持ちたい。
御飯は自炊です。
予定では電車で行く。人数と事情によっては車で行く可能性あり。
5日には陶芸体験が出来るかも
来週の土曜日に締め切ります。
宿泊所や布団の関係がありますので締め切りは守って下さい。
連絡先：入澤隆一

○野間君の結婚式

11月26日(日)13:00～16:30
箕面市立萱野中央人権文化センター（らいとぴあ21）
入澤君が司会をするとの事。会費は3000円ぐらいの予定
連絡先：入澤隆一

○長島愛生園に入園している加賀田一さんの本

NHKドキュメント「自分に帰る日」といて放映された、加賀田一さんの本『島が動いた』が文芸社から出版されました。定価1500円+税。ハンセン病の為に故郷を離れて、64年間を瀬戸内海の長島愛生園で過ごした人の記録きです。強制収容・無癩県運動・優生手術・長島事件・里帰り運動・長島大橋架橋などを渦中から報告した書です。

○耶馬溪Campの報告

10月7日～9日・14日～15日。大分の鈴木建久さんの所で秋の収穫のキャンプが行われました。作業は主に稲刈りで関東から4人のキャンパーの参加がありました。

○中国Campのお知らせ

韓国の助癩会のOBでKIWC（韓国国際労働キャンプ）を創立させたメンバーのカンサンミンさんから呼び掛けがありました。
1984年のキャンプ中に「日本と韓国のメンバーで一緒に東南アジアにキャンプをしに行こう」と助癩会のリーダーから提案があってから16年が経過しました。やっと希望がかないます。是非参加しましょう。
ワーク：台所の補修
日時：2001年2月10日頃から2週間（ワーク一週間・観光一週間）
場所：広州近くのハンセン病快復者の村
参加人数：15名（韓国6～7名・日本6～7名・他）
参加者希望者は柳川義雄まで

○集団の会（10月21日16:00～）

参加者：柳川義雄・須川浩和・寄田猛・建部穣・劉成道・戸張岳陽・原康男・岸野春子
排除に現象学という本の第1章を読み、それに付いて話し合った。
次回は11月19日14:00～　但し11月12日が雨の場合は12月2日に変更になります。場所は交流の家です。
テキスト：「排除の現象学」ちくま学芸文庫　赤坂憲雄著の第2章

○木本さちこさんの個展のお知らせ

今年の春の耶馬溪キャンプに参加した陶芸家、木本さちこさんの個展が開かれます。
場所：三ノ宮プルタンキーノにて
期間10月24日～29日（10:00～20:00）
期間中におおまきちまき＆むらあきさんのコンサートあり

○交流の家便り

11月25日(土)は飯河梨貴さんの命日です。今年は2月に集まりをしているので、特別な事はしませんが、ちょうど定例委員会の日になりました。お供えを持ってお出かけ下さい。

次回の定例会は11月25日（土）18:00～
交流の家にて
担当者：太田和加奈

FIWC関西委員会　委員長　入澤隆一

FIWC関西委員会
631-0042 奈良市大倭町2-33 交流の家
※PDF版では、個人の電話番号などの連絡先を掲載しておりません。
　お知りになりたい方は、下記までメールにてお問い合わせください。
PDF版制作：茂木 亮

FIWCの最新情報あります
Mognet
http://www.mognet.org
e-mail mog@mognet.org